

# NPO地球学園

生きていることは学ぶこと。  
学ぶことを楽しまないこと



平成9年、民間ボランティア団体の「NPO地球学園」をスタートさせた静文雄さん。市内の小・中学校を舞台に様々な体験学習を提案、実践している。

「地球全体をひとつの学校に見立てて始めたいです。好奇心を持つてると、学ぶ材料は身のまわりにいくらでもあるからね。虫も鳥も植物も、それから人間も含めて、すべてが教科書という考えですよ」

その活動内容は、流木を組み合わせた作品や再生紙を使つてのノートづくり、等身大の肖像画を描くなどのユニークなものばかり。和菓子づくりも好評だったという。

「知的障害児のクラスも担当していますが、生徒はみんな、とても発想が豊かです。和菓子づくりも粘土で遊

ぶみたい楽しんでやるんですよ」

話をうかがっていると、これらの活動を心から楽しんでいる様子が伝わってくる。

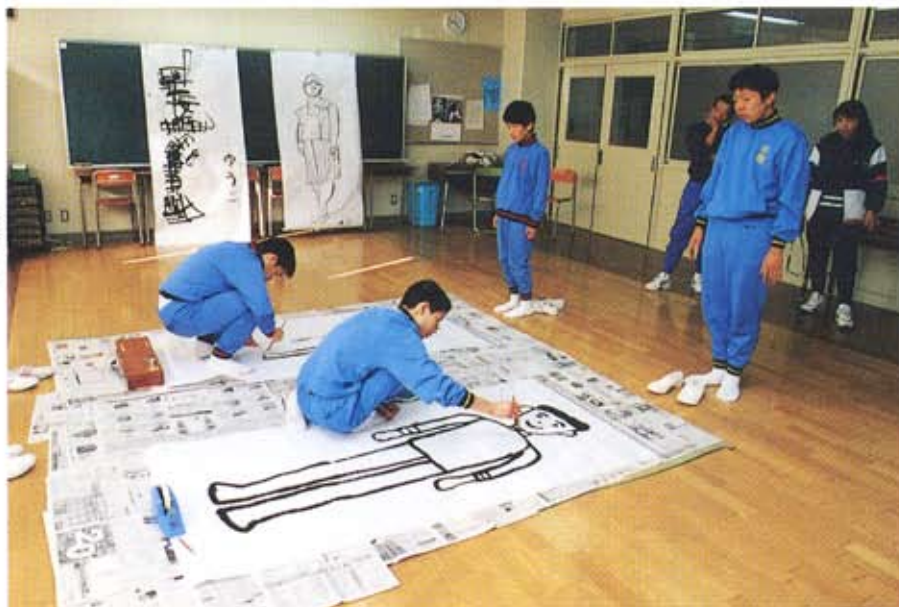
「こちらが楽しくないと、相手はもっと楽しくないでしょ（笑）。大人が楽しんでやれば、子どもだって楽しく勉強できるしね」

そんな静さん自身は、数々の受賞歴を誇る写真家でもある。

「実際の被写体は人間なんですけど、なに撮ってるんですかと聞かれたら、風景って答える。人間は最高の、すばらしい風景だと思ふからね」

地球学園や個人の活動、さまざまな展開を見せる静さんに今後の活動についてうかがった。

「やりたいことがいっぱいあって、なにからやるうかなって感じですよ」



等身大の肖像画制作は、南加瀬中学校など市内7校で行われ、展覧会も開催された



静 文雄さん [古市場在住]